

婚姻届の書き方と注意

黒インク又は黒ボールペンで書いてください。

1. お持ちいただくもの
- 婚姻届書および戸籍謄本または戸籍全部事項証明書
- 書。
- 届出人（夫と妻の旧姓）の印鑑。
- 本人確認ができるもの。（運転免許証・パスポートなど）
2. 届書の枚数と添付書類
- 婚姻届書 1 枚
- 夫と妻の戸籍謄本または戸籍全部事項証明書各 1 通
- ただし、届出地に夫・妻とも本籍がある場合は必要ありません。
- 他市区町村に本籍のある場合は戸籍謄本（戸籍全部事項証明書）
- が必要です。
3. 未成年者の婚姻には父母の同意が必要です。
- 同意書を添付するか「その他」欄に署名押印して
- ください。
- 「この婚姻に同意します 父○○ △△ 印
- 母○○ △△ 印」
4. 住所を変更される方は異動の届（転入届・転居届・
- 世帯変更届）をしてください。
- 他市区町村から転入される方は転出証明書を添付
- してください。
5. 届出人は夫妻双方です。届出人の作成した届書を持
- 参する方は家族でもかまいませんが、訂正の必要が
- 生じた場合は、ご来庁いただくこともあります。
6. 一方が外国人または外国人同士の場合は取り扱いが
- 異なりますから下記へおたずねください。

お問い合わせは

婚姻届

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日届出

○○市(町・村)長 殿

	夫 になる 人		妻 になる 人																			
(よみかた)	こ う の ゆ き お		お つ か わ ふ く こ																			
氏 名	氏 甲 野 幸 男	氏 乙 川 福 子																				
生 年 月 日	昭 和 5 6 年 6 月 2 0 日		昭 和 5 8 年 3 月 3 日																			
住 所	○ ○ 県 ○ ○ 市 富 士 見		○ ○ 県 ○ ○ 市 富 士 見																			
(住民登録をして いるところ)	4 丁 目 2 番 地 番 1 号		4 丁 目 2 番 地 番 1 号																			
(よみかた)	こ う の ゆ き お		こ う の ゆ き お																			
	世帯主 甲 野 幸 男 の氏名		世帯主 甲 野 幸 男 の氏名																			
本 籍	○ ○ 県 ○ ○ 郡 ○ ○ 町		○ ○ 県 ○ ○ 市 松 島 町																			
(外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	若 葉 1 2 1 番 地 番		3 丁 目 1 0 0 番 地 番																			
	筆頭者 甲 野 太 郎 の氏名		筆頭者 乙 川 和 夫 の氏名																			
父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄	父 甲 野 太 郎	続 き 柄	父 乙 川 和 夫	続 き 柄																		
(他の養父母は その他の欄に 書いてください)	母 良 子	長 男	母 恵 子	二 女																		
婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	☒ 夫の氏 ☐ 妻の氏 新本籍 (左の印の氏の人すでに戸籍の筆頭者となっているときは書かなくてください)																					
	○ ○ 県 ○ ○ 市 富 士 見 4 丁 目 2 番 地 番																					
同居を始めた とき	平 成 1 9 年 1 0 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)																					
初婚・再婚の別	夫 ☒ 初婚 ☐ 再婚 ☐ 死別 ☐ 離別	年 月 日	妻 ☒ 初婚 ☐ 再婚 ☐ 死別 ☐ 離別	年 月 日																		
同居を始める 前の夫婦のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	<table><tr><td>☐夫</td><td>☐妻</td><td>1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯</td></tr><tr><td>☐夫</td><td>☐妻</td><td>2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯</td></tr><tr><td>☒夫</td><td>☐妻</td><td>3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が 1 人から99人までの世帯（日々または1 年未満の契約の雇用者は5）</td></tr><tr><td>☐夫</td><td>☒妻</td><td>4. 3 にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または 1 年未満の契約の雇用者は5）</td></tr><tr><td>☐夫</td><td>☐妻</td><td>5. 1 から4 にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯</td></tr><tr><td>☐夫</td><td>☐妻</td><td>6. 仕事をしている者のいない世帯</td></tr></table>				☐ 夫	☐ 妻	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯	☐ 夫	☐ 妻	2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	☒ 夫	☐ 妻	3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が 1 人から99人までの世帯（日々または1 年未満の契約の雇用者は5）	☐ 夫	☒ 妻	4. 3 にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または 1 年未満の契約の雇用者は5）	☐ 夫	☐ 妻	5. 1 から4 にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	☐ 夫	☐ 妻	6. 仕事をしている者のいない世帯
☐ 夫	☐ 妻	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯																				
☐ 夫	☐ 妻	2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯																				
☒ 夫	☐ 妻	3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が 1 人から99人までの世帯（日々または1 年未満の契約の雇用者は5）																				
☐ 夫	☒ 妻	4. 3 にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または 1 年未満の契約の雇用者は5）																				
☐ 夫	☐ 妻	5. 1 から4 にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯																				
☐ 夫	☐ 妻	6. 仕事をしている者のいない世帯																				
夫 婦 の 職 業	(国勢調査の年…平成 年…の4 月1 日から翌年3 月31 日までに届出をするときだけ書いてください)																					
	夫の職業		妻の職業																			
そ の 他																						
届 出 人 署 名 押 印	夫 甲 野 幸 男 (甲野)印		妻 乙 川 福 子 (乙川)印																			
事 件 簿 番 号			連絡先 電話 () 自宅・勤務先[] (携帯)																			

旧姓（婚姻前）の戸籍謄本（戸籍全部事項証明書）の字体どおり書いてくだ
さい。
正字、常用漢字になおしたときは「その他」欄に申し出をしてください。

婚姻届と同時に住所を移す場合は新住所を書いてください。

戸籍謄本（戸籍全部事項証明書）どおりの本籍地を書いてください。
外国人のときは国籍だけ書いてください。

実父母が婚姻中のときは母の氏は書かないで名だけ書いてください。
夫婦どちらかが養子、養女のときは養親の氏名は「その他」欄に書いてくだ
さい。

夫婦は同一の氏を称することになります。夫か妻の氏いずれかを選んでくだ
さい。
氏を称する人が筆頭者でない場合は夫婦について新しい戸籍が作られます。

同居前の夫婦の世帯の仕事を選んで該当する箇所に✓してください。

国勢調査の年のみ記入してください。

婚姻前の氏名で必ず本人が自署し押印してください。

昼間連絡のとれる電話番号を必ず記入してください。

成年人（20歳以上）ならだれでもよいですが本人が自署し、
印鑑は各自別々のものを使用してください。

証 人	
署 押 名 印	丙 山 良 雄 (丙山)印
生 年 月 日	昭 和 2 7 年 1 月 1 5 日
住 所	○ ○ 県 ○ ○ 市 大 手 町
	2 丁 目 5 番 地 番 1 8 号
本 籍	○ ○ 県 ○ ○ 郡 ○ ○ 町
	1 3 2 番 地 番